

「半月山に行って」

A . K

私は、11月8日(土)に日光にある半月山に行ってきました。その前日は雨が降っていて天気の方が心配だったのですが、どうにか回復してくれて当日は曇りでした。けれど気温が低く、東武線の浅草駅に集合した時点で冬のように感じる寒さで、登山したらより体感温度が下がるのではないかと心配でした。また、この日は立教生が私しかおらず、最初はとても不安を感じていました。浅草駅から東武日光駅まで電車で2時間、そこで合流した他のアルプのメンバーと共にバスに乗り、30分かけて中善寺温泉停留所に到着しました。そこから少しのところに登山道の入り口があり、そこで円になり自己紹介と準備体操をしました。そこから班分けをして、私は2班の方になりました。そして弱視の人のサポートを一番手にやらせていただくことになったのですが、その人は前回に参加した高鈴山で、下山するときにサポートした男性でした。今回の半月山も奥さんと一緒に参加されたようで、前回知り合っている分サポートするにあたっての緊張が少しほぐれたように感じました。リュックにロープをつけてもらい山を登り始めたのですが、懸念したとおり真冬のように寒く、歩いていないと冷たい風に体温を奪われてしまうといった感じでした。前日にAさんからメールをもらっていましたが、日光の最高気温が5だと教えられたのにも関わらず私は手袋を忘れていました。そのことを話したらメンバーの男性から予備の手袋を貸してもらえたのですが、もしこの日に手袋を着けなかったら、手が震えっぱなしで登山に支障が出たのではないかと今でも思います。このように山を登り始めてからすぐのところでも湖を見られました。山に囲まれた広い湖で、その景色を見ていると既に秋を通り越して冬の季節になってしまったのではないと思うくらい、何だか寂しさを感じてしまいました。このときはまだ東京では紅葉は始まっていなくて日光の山々も所々紅くなっているけれど、完全ではなかったので季節感のギャップに驚きました。そこから15分ほどして休憩となり、ここでサポート役を交代しました。それから、とにかく歩いて小さい野原のような場所で昼食を食べました。昼食を終えてまた歩き始めてから知ったのですが、実はその山は半月山ではなくて半月山から手前2つの山でした。間違えたわけではなく元からそのつもりだったようで、山を登って下りてを2回繰り返してやっと本命の半月山に登るときは、あまり持っていない体力を奪われた気分でした。そして半月山に入るとき、この日2回目のサポートをすることになりました。けれど入ってからほどなくして、障害物や切れているところが増えて少し危険だったのでAさんと交代しました。それからやっと山頂に着いて記念撮影をしたのですが、その頃には日が傾きかけていました。急いで下山し始めたのですが、辺りが薄暗くなってもまだ山の中で、山を降り終わったときには既に月が出ていました。しかも半月でした。予定より2時間も遅れたようで、山のそばにあったお食事処で夕食を食べました。お酒も出てきて(私は飲みませんでした。)みんなとても楽しそうで、山と一緒に登ったという一体感があって気分も居心地もとても良かったです。しかも夕食はAさんに奢っていただきました。それから停留所に戻り、駅で解散しました。立教生一人だけという状況は不安でしたが、終わってみるととても楽しいものでした。課題で2回登山に参加しましたが、どちらも楽しんで経験できたので自分にとって良いものだったと思います。いつか時間ができたらまた登山をしてみたいです。